

畜産ネットワーク ちば

2012年9月18日
第25号

発行所 (社) 千葉県畜産協会
〒260-0021
千葉市中央区新宿1-2-3
K&T千葉ビル3階
発行人 森 英介

10月6日(土) 船橋競馬場へ!!

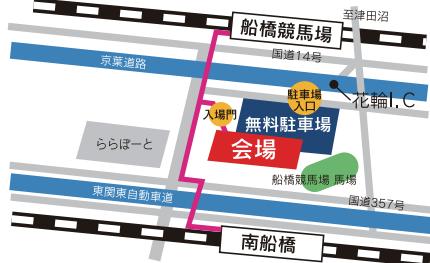
★入場無料★

11:00~15:00

会場／船橋競馬場

電車 京成「船橋競馬場駅」下車 徒歩5分
JR「南船橋駅」下車 徒歩10分

車 花輪I.C.から車で1分/駐車場有
(840台・当日無料)



はしご車や乗馬など普段は出来ない貴重な体験ができるブースや、焼肉、牛乳、はちみつなど地元千葉県産の「美味しいもの」を味わえるブースがいっぱい



~食べて応援しよう・がんばろう千葉~

★千葉県畜産フェア★

(後援: 千葉県・船橋市)

牛のあたたかさにふれあおう!
乳牛の乳搾り体験



体験開始 13:00~
(12時より整理券発行)



【お問い合わせ】

●千葉県競馬組合

船橋市若松1-2-1 TEL 047-431-2156

●(社)千葉県畜産協会

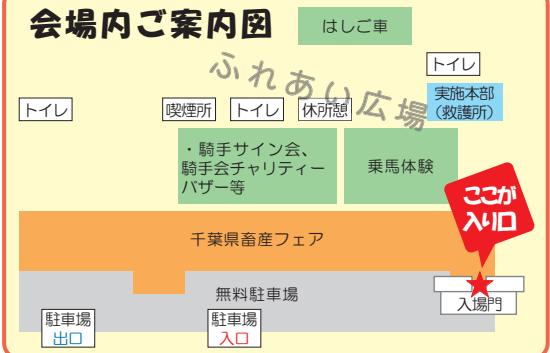
千葉市中央区新宿1-2-3 TEL 043-242-6333

同時開催

★ふれあい広場★



会場内ご案内図



もくじ

- ・千葉県畜産フェア (1)
- ・平成24年度第1回通常総会(畜産協会) (2)
- ・肉用牛損害賠償請求方式が下落率方式に移行決定 (3)
- ・平成24年度主な家畜衛生対策事業の推進について (4)
- ・豚の人工授精技術研修会を開催 (5)
- ・家畜防疫(AD清浄化対策)に関する情報交換会開催 (5)
- ・平成24年度通常総会(NPC) (6)
- ・平成24年度通常総会開催(JPPA) (6)
- ・上物規格上限80kgを83kgへ改正すべき!要請書を提出 (7)
- ・問屋・流通関係者との情報交換会開催 (7)
- ・平成24年度養豚経営安定対策事業(全国肉豚) (7)
- ・NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信 (8)
- ・肥育牛補てん金単価について (9)
- ・子牛平均売買価格及び補給交付金単価等について (9)
- ・ふれあい体験教室開催 (10)
- ・ちば畜産レディースネットワーク会報 (11)
- ・平成24年度千葉県豚共進会 (12)
- ・第39回千葉県種豚オークション (12)

平成24年度第1回通常総会開催

平成24年6月25日、千葉市・プラザ菜の花において、当協会の平成24年度第1回通常総会が開催され、平成23年度事業報告、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録の承認についての他2議案について承認されました。

東日本大震災の発生、東京電力福島原子力発電所事故による放射能汚染問題等々、息つく間もないほどの状態で23年度を迎えることとなり、想定外の事案が次々と起こる中、飼料価格は高止まりとなり、TPP参加問題も先行き不透明な状況が続き、更には放射能汚染稻わらによる牛肉汚染事案が発生し、風評被害に晒されるなど、見通しの立たない極めて厳しい畜産環境の23年度でありました。

こうした状況に対して当協会としては、国等の緊急支援対策事業に積極的に取り組むとともに、県行政や関係団体・肉用牛経営者からの要望に応え、東京電力に対する損害賠償事務の事務局を務め、迅速・円滑な賠償がなされるよう努めました。

また、国等の事業費の削減や事業仕組みの変更等により、業務運営が極めて厳しいことから、事務の効率化や経費削減に取り組んだほか、業務の効率的な推進に積極的に取り組むとともに、安全・安心・高品質な畜産物の安定供給のため、畜産経営の安定、生産性の向上、畜産への理解増進等を図りました。（総務・企画部 奥住）

= 社団法人 千葉県畜産協会 役員名簿 =

役職名	氏名	所属団体・役職名等
会長理事	森 英介	社団法人千葉農林水産統計協会 会長
会長代理理事	奥澤 捷貴	千葉県酪農農業協同組合連合会 代表理事長
副会長理事	磯野 光彦	全国農業協同組合連合会千葉県本部 県本部長
副会長理事	堀江 光洋	富里市農業協同組合 養豚部
副会長理事	明智 忠直	旭市 市長
副会長理事	菅澤 勝則	千葉県農業共済組合連合会 家畜部部長
常務理事	新城 恒二	学識経験
理事	野宮 紀昭	千葉県信用農業協同組合連合会 経営管理委員会会長
理事	伊藤 尚志	千葉県農林水産部畜産課 課長
理事	高宮 保之	千葉県肉牛生産農業協同組合 代表理事組合長
理事	石神 嘉明	ちばみどり農業協同組合 常務理事
理事	岩瀬 幸雄	かとり農業協同組合 指導経済担当常務
理事	山根 晃	公益社団法人 千葉県獣医師会 会長
理事	石井 裕	南房総市 市長
理事	蜂谷 良一	千葉県家畜商協同組合 理事長
理事	平野 拓歩	ナイス・パーク・チバ推進協議会 会長
理事	島田 栄雄	干潟種豚組合
理事	北川 富基	千葉県鶏卵販売農業協同組合 代表理事組合長
代表監事	中村 正博	千葉県農業協同組合中央会 専務理事
監事	斎藤 昌雄	千葉市畜産協会 会長
監事	伊藤 富治	社団法人 千葉県配合飼料価格安定基金協会 理事長

瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売
日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
URL : www.zenoaq.jp

肉用牛損害賠償請求

請求方式が下落率方式に移行決定 (平成24年8月分から)

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射能物質により汚染された稻わらが流通し牛肉などに風評被害が出ている問題で、千葉県内の肉用牛生産農家が損害賠償請求を行うため、「千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会会長 山崎巖」が設立（以下、「生産者会」という）され、社団法人千葉県畜産協会が事務局となり実施しております。これまでの請求・支払状況と今後の請求予定を併せてご案内いたします。（総務課 武田）

第1回請求	請求金額：447,441千円（請求日：平成23年11月15日） 請求者数：99名（会員数：124名） 補償金額：420,245千円（支払完了日：平成23年12月30日）
第2回請求	請求金額：562,226千円（請求日：平成23年12月28日） 請求者数：109名（会員数135名） 補償金額：535,195千円（支払完了日：平成24年3月30日）
第3回請求	請求金額：1,014,603千円（請求日：平成24年3月30日） 請求者数：122名（会員数141名） 補償金額：1,063,387千円（当該額最終支払日：平成24年8月24日） (注)一部未払い有り：平成24年9月5日現在
第4回請求	請求金額：677,002千円（請求日：平成24年9月5日） 請求者数：138名（会員数161名） 支払予定：11月上～中旬頃
第5回請求	請求予定：9月末、支払予定12月上旬頃 請求対象期間：平成23年7月8日～平成24年8月31日※ 請求対象：肉用牛販売、スマール・子牛販売、牧草等 ※平成24年8月分は役員会において、原価積上げ方式から下落率方式への移行に関する事項が決定し だい対応することになります。

情報提供等

- 生産者会への加入は随時受付ておりますので、お近くの支援団体又は事務局までお問い合わせください。
- 酪農及び乳肉複合経営の方は県酪連からのご請求になりますのでご注意ください。

支援団体

千葉県家畜商協同組合、千葉県肉牛生産農業協同組合、千葉県配合飼料価格安定基金協会、
[千葉県全日本畜産経営者協会]、社団法人千葉県農業協会（肉用牛部会）、株式会社千葉県食肉公社、
横芝光町（東陽食肉センター）、県南畜産処理事業協同組合（南総食肉センター）

お問い合わせ先

千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会（事務局：社団法人 千葉県畜産協会）

担当：武田・山田・新城 TEL:043(241)1738 FAX:043(238)1255

=地方競馬全国協会からのご案内=

「地方競馬の馬主になりたい！」という方は地方競馬全国協会まで
ご連絡ください。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主の情報については、下記からもご覧になれます。

地方競馬サイト (<http://www.keiba.go.jp/>)

問い合わせ先 審査部登録課 TEL: 03-3583-2142



平成24年度主な家畜衛生対策事業の推進について

畜産協会では畜産農家自らが行う防疫活動に対して、市町村家畜防疫会、家畜保健衛生所及び関係機関・団体・業者の皆さんのご協力のもとに、各種支援事業の推進にあたっております。

その主な事業として、オーエスキーボ清浄化支援対策事業、死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業、家畜防疫互助基金支援事業を実施しており、本年度事業の一部改正及び変更がありましたのでお知らせします。（事務局長 森葉）

1 オーエスキーボ清浄化支援対策事業

オーエスキーボ汚染地域を対象にワクチン接種、抗体検査及び感染豚のとう汰に対して助成を行っております。このうち感染豚のとう汰助成について、感染豚のとう汰更新のスピード化を図るため、これまでの評価助成方式から申請手続きを簡略した定額助成方式（1頭当たり16千円以内の助成）に改正されました。

（計画と実績）

区分	ワクチン接種頭数	抗体検査頭数	感染とう汰頭数	支援事業費（助成）
24 計画	1,400,000頭	13,620頭	400頭	81,620,000円
23 実績	1,429,230頭	14,565頭	109頭	68,384,517円

2 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業

死亡牛のBSE（牛海绵状脑症）検査を確実に実施するため、24ヶ月齢以上の死亡牛の運搬、化製処理に対して助成を行っております。これまで事業計画に見合った国庫補助金が確保されてきましたが、税収の回復遅延等により補助金の確保に影響が見られ、死亡牛の発生頭数も予想できず、現段階で補助単価の決定ができないことから、事業実績に基づく補助金の確定を待って補助単価を決定することとしました。

このため、畜産協会から牛飼養農家への補助金の交付時期を次のとおり変更します。

（補助金交付時期の変更）

変更後（平成24年度～）	変更前（～平成23年度）
死亡牛の輸送費及び化製処理費に係る補助金は年に1回、翌年度の4～5月に農家へ交付する。	死亡牛の輸送費及び化製処理費に係る補助金は2カ月ごとに農家へ交付する。

3 家畜防疫互助基金支援事業

前第24号でお知らせしたとおり、本年度は事業実施期間の切替えの年にあたります。宮崎県での口蹄疫発生を踏まえ、新たな基金設計のもとに生産者積立金単価が引き上りましたが、今回は前事業実施期間の基金残額（追加負担による積戻基金）が返戻され積立金との相殺により、加入者の負担が軽減されることとなりました。

現時点における加入状況は次のとおりです。なお、何らかの理由で加入契約のできなかった生産者に対しては、本年度に限り1月31日まで加入契約ができますので、この機会に是非とも加入をお願いします。

（加入状況）

年度	牛			豚			備考
	戸数	頭数	基金造成額	戸数	頭数	基金造成額	
24	743戸	67,614頭	12,659,270円	199戸	567,833頭	32,507,080円	8月時点
23	778戸	71,363頭	4,052,040円	205戸	556,739頭	20,171,930円	全額返戻

わたしたち森久保薬品は
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

④ 森久保薬品株式会社

<http://www.morikubo.co.jp>



豚の人工授精技術研修会を開催

本年(平成24年)2月1日から3日までの3日間、県畜産総合研究センター(八街市)において、豚の人工授精技術研修会を開催しました。

当研修会は、家畜人工授精師の資格は必要としないが、人工授精の基礎知識や実践的な技術を確実に習得したいという方々を対象に行い、参加者は県内で養豚業に携わる7名の方々でした。研修内容は、豚の繁殖や精子生理の一般的な理論の講義と、希釈液の作成・実際に雄豚を使った精液採取・精子活力検査・精子の保管方法などの実技です。参加された皆さんには、貴重な時間を割いて研修会に臨まれていたこともあり、最終日には各自、精液採取から希釈、検査、保管までの一連の処理ができるようになりました。

豚の人工授精技術は、コスト面や管理面、遺伝的な改良面において重要な技術であり、さらに普及が進むことは間違ひありません。当センターでは、今後も年に2回程度の研修会を開催する予定です。参加に当たっては、当センター養豚エリア内に入って実習を行うため、前日から近くのホテルに宿泊していただくなど衛生面で厳しい制約がありますが、研修自体は無料で行っていますので、意欲のある方は是非御参加ください。



畜産総合研究センター 生産技術部 養豚養鶏研究室
TEL: 043-445-4511 FAX: 043-445-5447

農林水産省消費安全局動物衛生課／生産局畜産部担当官との家畜防疫(AD清浄化対策)に関する情報交換会開催

平成24年8月28日(火)旭市所在の「黄鶴」において家畜防疫(AD清浄化対策)に関する情報交換会が開催された。会場には農水省(生産局・消費安全局他)、県畜産課、地域農業事務所、家畜保健衛生所、農業共済組連合会他関連団体、飼料・薬品関連業界、生産者、生産集団事務局など115名が参加した。開催の目的は、国が実施の清浄化対策事業の平成25年度以降の継続を求めるもので、主催者であるナイスパークチバ推進協議会 平野拓歩会長から、「厳しい生産状況にあって疾病の排除により生産力・経営力を高めなければならない。オーエスキ一病の清浄化が急務であり、事業の継続が必要。」と挨拶。

また、来賓として出席された、農林水産省消費安全局動物衛生課藁田 純調査官から、皆さんと約束した清浄化のための最終年度であり、まだ、清浄化できていない。これをまた継続することはかなり無理がある。生産者自らの取り組みにより必ず清浄化するとの強い意思表示と踏み込んだ取り組みがなければ難しいと挨拶。



農水省消費安全局動物衛生課防疫業務班・大倉達洋課長補佐から『オーエスキ一病を巡る状況』と題して話された。

その中で、24年度の終期となる補助事業をここで終了していいのか。ここまで取り組んできた方々のステータスが前に戻る懸念がある。担当として事業の終了は厳しいという意識はある。地域清浄化の取り組みの中で、ワクチンを続けるための事業ではない。今まで以上に清浄化への強い取り組みと姿勢がないと助成の継続は難しいと考える。より生産地域の努力・対応が前提条件。更なる前向きな取り組みの必要性を促した。千葉県の取り組み経過と現状については、県家畜保健衛生所、県農業共済連各担当からの報告の後、フリーディスカッションで各生産者からAD清浄化の必要性、事業の継続の訴えが出された。それを受けナイスパーク協議会平野会長から、取組を踏まえステータスⅡの前期の農場に対し全頭ワクチン接種を実施。ステータスⅡ後期の農場に対し全頭検査を実施し、陽性豚の淘汰を推進する。推進に際し、今までの清浄化優良事例を紹介しながら、養豚農家とのあらゆる接触を捉え、清浄化へ取り組む強い決意を述べ、それに基づき農林水産省消費安全局長宛ての要望書を提出した。

これに対し、藁田調査官は、「清浄化は、地域での生産者自ら意識を高め、取り組む姿勢が必要です。ただ単に従来と同様な取り組みでは事業の継続は難しい。千葉県の踏み込んだ対応を期待したい。」と挨拶された。(事務局 加藤)

平成24年度通常総会全議案承認される 組織強化と疾病対策による生産性向上を目指す!!

平成24年6月1日(金)千葉市内オークラ千葉ホテル「ウインザーホテル」において、来賓、生産者、賛助会員、計135名の参加を得て盛大に開催された。

始めに平野会長から「輸入豚肉の増加、景気回復の鈍化から、昨年9月以降長引く豚価低迷により、資金繰りに支障がきたすなど、生産者はかつてない大変厳しい状況にある。このような状況に加え、国が参加推進を進めるTPP問題は断固反対していく姿勢が重要。また、差額関税制度の厳格運用に関する通達、平成23年度養豚経営安定対策事業(全国肉豚)第4四半期の満額補てんなど、地域組織と中央組織の連携により大きな成果を挙げている。」旨、挨拶。

来賓として、国会議員、県議会議員及び県・関係団体からそれぞれ挨拶を頂き、議長に平野拓歩会長を選出し予定された全議案が承認された。本年度の事業計画として特に、会員加入拡大、経営安定強化のための要請に加え、家畜伝染病予防法の改正に伴う、生産者として義務を踏まえた防疫とAD清浄化に向けた活動を推進していく事で決議された。

記念講演では、『国家の存亡・平成の開国が日本を亡ぼす』と題し、ノンフィクション作家：関岡 英之氏からTPPの参加の危険性・国民運動として参加阻止が重要であると話された。(事務局 加藤)



一般社団法人日本養豚協会(JPPA)平成24年度通常総会開催 任期満了に伴う役員改選により新体制スタート!!



平成24年6月13日(水)千代田区飯田橋所在のホテルグランドパレスにおいて平成24年度通常総会が生産者、関係者260名が出席し開催された。星副会長の司会により平野副会長の開会の言葉、志澤 勝会長から挨拶、来賓として、民主党衆議院議員中井 治(養豚議連会長)氏、衆議院議員・前農林水産大臣山田正彦氏、農林水産省生産局長今井敏氏(代理:農水省原田課長)からそれぞれ挨拶、他来賓を紹介し議案の審議に入り予定された全議案が承認された。

第4号議案:任期満了に伴う役員の改選に関する件では、今回関東ブロック枠として千葉県から2名の生産者が選出された。(事務局 加藤)

一般社団法人日本養豚協会(JPPA)役員名簿(2012.6.13改正)

職名	氏名	選出県	職名	氏名	選出県
会長	志澤 勝	神奈川	理事	岡部 康之	群馬
会長代行	栗木 錠三	岐阜	〃	松村 昌雄	埼玉
副会長	稻吉 弘之	愛知	〃	北見 則弘	千葉
〃	遠藤 啓介	岩手	〃	川上 康治	長野
〃	星 正美	栃木	〃	木島 敏昭	富山
〃	平野 拓歩	千葉	〃	大西 裕	三重
〃	竹延 哲治	鳥取	〃	竹内日出男	愛媛
〃	大迫 昭蔵	鹿児島	〃	上野 孝幸	長崎
専務理事	倉本 寿夫	学識経験	〃	中尾 正弘	熊本
常務理事	小磯 孝	〃	〃	福田 実	大分
理事	富樫 儀禮	北海道	〃	日高 省三	宮崎
〃	布施 久	青森県	〃	我那覇 明	沖縄
〃	丹尾 久剛	秋田県	〃	林 邦雄	学識経験
〃	阿部 秀顕	山形	監事	横山 清	神奈川
〃	中野目正治	福島	〃	香川 雅彦	宮崎
〃	桜井 宣育	茨城			

上物規格上限80kgを83kgへ改正すべき!!

-公益社団法人日本食肉格付協会へ規格に関する要請書を提出-

全国の養豚生産者組織は、平成17年から一貫して上物規格を3kg引き上げ、83kgに変更するよう要望してきました。一般社団法人日本養豚協会（JPPA）は本年7月に入り国及び中央団体へ再度要請を行っている。この事を踏まえナイスポークチバ推進協議会は、平成24年8月16日（木）、（株）千葉県食肉公社内に事務所を置く、公益社団法人日本食肉格付協会関東支所、旭事業所を訪問し、金井俊男会長宛ての要請文書を長塚公男所長に提出した。

改正の理由として

- ①品種改良によって豚が大型化していること。
- ②消費者にとって83kgまで大きくした方が美味しいこと。
- ③出荷体重を大きくすることで生産コストが下がり、最終的に消費者の利益につながること。
- ④相対取引きでは83kgまでの枝肉は上物扱いされているケースが多いこと。
- ⑤日本に輸出する国との畜体重も大きくなっていること。



などの理由を説明し理解を求めた。

生産者からの要請に対し、要請書は本部あて提出する旨、所長から回答を得た。

要請の中で、昨年9月以降本年5月にかけて、大幅な豚価下落により、生産者の経営は大変厳しい状況に置かれている。また米国中西部の干ばつの影響から穀物相場の急騰との情報から10~12月の配合飼料の大幅高騰が懸念されている。生産者として、肉豚生産コストの削減を図る重要な要請である事の理解をお願いした。（事務局 加藤）

上物規格83kg要請に伴う問屋・流通関係者との情報交換会開催

平成24年8月16日（木）千葉県食肉公社に関連する問屋・流通関係者との情報交換会を（株）千葉県食肉公社会議室において開催した。ナイスポークから生産者9名がこれに参加し上物規格を83kgに引き上げる生産者の要望に対し業界としての意見を聞いた。

昨年原発の影響もあり、9月以降、本年5~6月まで枝肉価格が安く、原価割れの状況が続いた。10月以降配合飼料値上げが予想される事から実質480~490円は最低必要であろう。日頃生産性の向上に努力しているが、ランニングコストの負担等から資金力を高め、手取り額を上げて行かなければならない。

83kgに規格を改正することにより生産者が出荷する枝肉の平均重量が2~3kg上がることで、肉豚1頭当たりの生産費の削減に繋がるとの生産者からの要望が出された。

これに対し流通・問屋関係者からは、流通の中での枝肉重量範囲の決めごと、機械による加工処理工程の問題などから川下の理解が不可欠との意見が出された。

流通交渉の中では、厳しい生産現場にある生産者の声は全く無視され、店頭に並ぶ国産豚肉の多くが、生産原価割れの中で生産されたものであることは消費者の誰も知り得ない。



上物規格改正を求める要請は、従来ある流通の仕組みの中では簡単には動きそうもない。

流通・量販店に対し、意識を変えさせる生産者の努力が今度さらに必要と感じる情報交換会となった。

（事務局 加藤）

平成24年度養豚経営安定対策事業（全国肉豚）

6年間の事業としてスタートした全国肉豚！2年目となる24年度、多くの養豚生産者の方々に参加いただいております。

なお、平成24年度生産者積立金額が、肉豚1頭700円と決定し増額となったことから、昨年1頭当たり60円の県助成に対し拡充要望をしているところです。

そのことから、平成24年度の県補助金の交付については、年度末に年間契約頭数に県補助金単価を乗じた金額を県畜産協会等を窓口として生産者宛て交付することとなります。（生産課 金杉）

○事業参加生産者 225戸

◆第1四半期補てん金単価

○加入頭数 1,087,623頭

1頭当たり 1,230円

NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

1. 平成24年度通常総会及び第1回畜産研修会の開催

平成24年度通常総会が5月22日(火)午後1時30分から千葉市中央区千葉市生涯学習センター(メディエック)に於いて会員総数61名のうち、54名の出席(内表決委任者24名)を得て、開催されました。

樋口理事の進行により、香川副理事長挨拶、来賓として社団法人千葉県畜産協会新城常務理事、千葉県農林水産部畜産課高橋主幹の祝辞をいただいた後、互選により松田副理事長を議長に選任し、1号議案平成23年度事業報告、収支計算書、貸借対照表及び財産目録の承認、第2号議案平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認、第3号議案役員の補選について審議がなされ、1~2号議案は原案通り承認可決されました。3号議案は現在の理事6人制から、1名増員して7人制とするもので、高梨氏が理事(調査研究部会長)として承認可決されました。

平成24年度は本NPO法人として活動を開始してから6年目に入ることから、専門部会に重点を置いた活動を積極的に実行し、(社)千葉県畜産協会の指導のもとに千葉県農場HACCP推進指導事業等を充実して、関係組織職員の畜産経営分析や家畜飼養、衛生環境等の指導向上に努め、畜産経営の向上等に向けての支援をさらに推進します。

また生産者と消費者との交流事業に参加し、消費者への畜産理解と消費拡大を推進するほか、児童生徒を対象に家畜と触れ合う情操教育の場を提供することとしています。

次に総会終了後14時30分から同じ会場で第1回畜産研修会を開催しました。講演1は本NPO会員の林克郎千葉県酪農農業協同組合連合会参与による「千葉県酪農のあゆみ」千葉県の酪農黎明時代の調査・考察、講演2は本NPO会員の唐仁原景昭獣医師による長年にわたっての現地調査による成果「四国の狂犬病流行史」、現在HACCP農場指導員の本NPO会員の計良伸行指導員による「千葉県農場HACCP推進農場申請の現状について」と実際の指導・支援の現状を説明し、農場HACCPの重要性をPRしました。何れも、長年自身のテーマとして調査・研究・実施してきた内容で奥が深く、多くの質問があり、活発な意見交換の場となりました。出席できなかった方は、次回是非ご出席ください。

2. 第1回企画部会

6月13日(水)午後1時30分から千葉県畜産協会会議室に於いて、今後の本NPO法人の運営や活動方向、畜産農家・行政への支援のあり方等について話し合うため、松田企画部会長、香川・南出副部会長及び樋口生産振興部会長、高梨調査研究部会長の出席を得て企画部会議が開催され、(1)行政との意見交換会、(2)県からの委託事業等、(3)公募事業への応募、(4)会員拡大等々について協議しました。行政との意見交換会では本NPOの活動状況等やPR及び県の畜産関係事業の実施内容等の照会、公募は畜産協会の指導のもと、実施に当たって県の指導・支援、また、会員の拡大は会員や団体の知人・関係団体等に働きかけをお願いして広く募っていく等について話し合い、少しでもできるところから実行して行くことになりました。

会員の皆様の御理解・御協力をお願い致します。

3. 情報交換会

7月12日、県庁本庁舎2階 県民活動情報オフィスに於いて、畜産課6名、畜産協会1名、NPO6名、計13名の出席のもと、松田企画部長の進行で(1)TMR利用促進事業、(2)平成24年度農林水産省公募事業①農場飼養衛生管理強化事業②6次産業推進地域支援事業(3)今後のNPOの活動について意見交換を行いました。県はTMRを実施する中でNPOの活動に期待が寄せられ、別途専門分野の機関を含め協議していくことになりました。農林水産省動物衛生課公募の農場飼養衛生管理強化対策事業については、公募がなされたら畜産課と十分調整を図り取組むこと、6次産業については、25年度の公募に向け今後検討していくこととなります。又、今後のNPOの活動では、畜産課からは自給飼料増産計画の公募の紹介もありました。

◎入会申込みや畜産に関するご相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】 NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局 ((社)千葉県畜産協会内)

TEL:043-241-1738 FAX:043-238-1255 正会員67(内、団体8) 賛助会員2(団体)

4. 平成24年度農場HACCP推進指導事業の推進方針等について

千葉県農場HACCP推進指導事業は畜産協会が平成23年度新規3年間事業として創設し、NPOは畜産協会の委託を受け、本事業を推進する農場指導員を派遣することとして、昨年度から取組んできました。

去る4月23日(月)に唐仁原衛生環境部会長始め農場HACCP推進指導員等関係者による会議が開催され、今年度の推進方針について検討し、(1)農場HACCP指導員の倍増を目指す、(2)農場HACCPの指導を希望する農場全戸を対象として積極的に推進する、(3)農場HACCP認証モデル農場を指定し、計画的に取り組む。現在、NPOが指導・支援して農場HACCP推進農場申請し承認された農場は肉用牛1戸、採卵鶏3戸、養豚4戸。現在推進指導中の農場は7戸となっています。まだ、希望している農場を巡り切れていませんので、今後、一緒にやって頂ける指導員を募り積極的に推進していきたいと考えていますので、農場HACCP指導員を希望されます方はNPO事務局まで御一報下さい、大歓迎します。(事務局 薫田)

肉用牛肥育経営安定特別対策(新マルキン)事業

肥育牛補てん金単価について【平成24年7月】

毎月払いが継続して実施されておりますので、引き続き販売報告の漏れがないようお願いします。(企画課 大崎)

1 補てん金単価と算定

区分	肉専用種	交雑種	乳用種
平均粗収益(A)	822,149円	513,242円	284,798円
平均生産費(B)	854,006円	657,719円	378,586円
差額(C) = (A) - (B)	△31,857円	△144,477円	△93,788円
補てん金単価(C) × 0.8	25,400円	115,500円	75,000円

※: 100円未満切り捨て

2 補てん金単価の推移

乳用種については、補てん金交付額に見合う財源が不足し、減額となった期間があります。(下段※印が千葉県の単価)

区分	肉専用種	交雑種	乳用種
24年 6月	30,900円	114,100円	76,400円
24年 5月	25,000円	89,500円	84,700円
24年 4月	7,600円	91,900円	108,300円 ※102,200円
24年 3月	39,900円	152,300円	124,500円 ※63,700円
24年 2月	67,000円	150,800円	124,100円 ※122,800円
24年 1月	69,500円	151,300円	120,200円

肉用子牛生産者補給金制度・肉用牛繁殖経営支援事業

平均売買価格及び補給交付金単価等について

平成24年度第1四半期に係る指定肉用子牛の平均売買価格及び補給交付金・肉用牛繁殖経営支援交付金の単価について下記のとおりとなります。(生産課 小倉)

1 平均売買価格と補給金単価

(単価:円/頭)

区分	品種		その他の肉専用種	乳用種	交雑種
	黒毛和種	褐毛和種			
保証基準価格	310,000	285,000	204,000	116,000	181,000
合理化目標価格	268,000	247,000	142,000	83,000	138,000
24年度	平均売買価格	402,700	349,600	130,100	81,500
第1四半期	補給交付金単価	—	—	72,710	34,350

2 肉用牛繁殖経営支援事業

(単価:円/頭)

区分	品種		その他の肉専用種
	黒毛和種	褐毛和種	
発動基準価格	380,000	350,000	250,000
24年度第1四半期 支援交付金単価	—	300	34,500

★ふれあい体験教室開催★

ワインナー作り・アイスクリーム作りに挑戦しました！

今年度も畜産協会の単独事業として消費者に畜産の現状や畜産の果たしている役割、県産畜産物に対する理解促進のため、ワインナー作りに（株）シェフミートさん、アイスクリーム作りに千葉県牛乳普及協会 石野さんを講師に迎え、下記のとおり実施いたしました。

会場に参加された親子は皆真剣に取り組み、『楽しい』、『もっと作りたい』、『出来上がったワインナーがおいしい』等と好評でした。体験後には協力団体から地域の銘柄豚のしゃぶしゃぶ、じゃがいもなどの提供があり、お腹いっぱい食べ満足な体験教室でした。（企画課 大崎）

☆富里市（8月5日）☆

J A富里市、房総ポーク販売促進協議会、佐々木農場の協力のもと10組が参加されました。



☆印西市（9月9日）☆

北総花の丘公園にて、午前の部（ワインナー・アイスクリーム作り）親子15組、午後の部（アイスクリーム作りのみ）30名が参加されました。

また、外ではマーガレットポークの試食販売（しゃぶしゃぶ）が行われ大変好評でした。



次代へつなぐ子供達の為にも安全な精肉を



CHEF MEAT CHIGUSA Co.,Ltd

株式会社シェフミートチグサ

〒262-0012 千葉県千葉市花見川区千種町210-5
TEL: 043-259-3705 URL: www.chefmeat.co.jp/



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第8号
モ~モ~フ~フ~コケコッコ
 千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。

活動記録

1 総会&紫陽花の宴&研修会・情報交換会が開催される。

レディースネットワークの一大行事である「総会&紫陽花の宴&研修会・情報交換会」が平成24年6月12日、ホテルプラザ菜の花（千葉市）で盛大に開催されたので、その概要を報告します。

・**総会** 会員25名（会員数60名）と来賓25名の出席のもと、上程された3議案はいずれも可決承認されました。

平成23年度の活動は情報交換会、情報発信（会員の活動状況等を畜産ネットワークちばに掲載）、研修会及び千葉県畜産フェアへの出展（「ミルクくずもち」の実演販売等を通して消費者と交流、畜産をアピール）、加えて全国縦断いきいきネットワーク若手後継者育成研修会が南房総市の会員牧場（須藤、池田牧場）で行われるなど、活発な展開が図られました。



(総会・会長あいさつ)

・**紫陽花の宴** 「元気豚（県産銘柄豚肉）のグリルで、ごちそうランチ」と銘打って、県産食材の豊富な洋食会席料理に舌鼓を打ち、テーブルを囲む会員、来賓との会話も自然と弾みました。

・**研修会** 「畜産に携わる女性ネットワークの取組み」と題して、女性ネットワークに明るい全国畜産縦断いきいきネットワーク事務局（中央畜産会）の西銘容子局長からご講演をいただきました。

・**情報交換会** 会員4名から事業活動（肉用牛、養豚、養鶏、養蜂）や若潮牛、元気豚、厚焼き玉子、ひわ蜂蜜等の自家製品の紹介と、TV「レディス4」に出演し自慢の牛乳豆腐を紹介された会員の談話等、興味深い内容に一喜一憂しウイットに富んだ質問も飛び交い、和気あいあいの情報交換となりました。



(会員・来賓一同)



(紫陽花の宴・元気豚に舌鼓)

2 会員製作の農畜産加工品等をテーマに第2回情報交換会が開催される。

平成24年7月10日、市原市農業センター料理教室を会場として、自ら製作した数々の農畜産加工品等を持ち寄り、手際よく調理・盛付け後、自慢の食材を賞味し「美味しい」の連呼の中、有意義な意見交換が行われました。持ち寄った食材は既に商品化・販売されているものから試作段階にあるもの、加えて銘柄の牛肉・豚肉・米・蜂蜜とバラエティーに富むもので、何れ劣らぬ出来栄えと畜産女性のパワーに消費者団体の和田、深谷両会長から賞賛の言葉をいただきました。



(美味しいを連呼の情報交換)



(サラに盛られた自慢の食材)



(調理室・調理と盛付け)

活動予定

- 第6回千葉県畜産フェアへの出展** 平成24年10月6日（土）午前11時～ 船橋競馬場
 今年も「ミルクくずもち」の実演・販売と会員製作の畜産加工品等の当たる「くじ引き」を行います。
- 第3回情報交換会の開催** 平成24年11月16日（金）午前11時～ 印旛合同庁舎（佐倉市）
 「畜産後継者の育成と確保」をテーマに後継者の体験談を中心に情報交換を行います。（事務局 榛葉）

平成24年度 千葉県豚共進会

肉豚の部

会期：10月2日（火）開会・搬入
3日（水）審査
4日（木）11時 展示講評
会場：旭市鎌数（株）千葉県食肉公社
出品：370頭

種豚の部

会期：10月31日（水）
午前9時 開会式・審査
午後3時 優賞授与式
会場：八街市八街一本榎
JA全農ちば八街家畜市場
出品：50頭

◎肉豚・種豚共進会開催時、それぞれ勉強会を併せて予定しています。



第39回千葉県種豚オークション

◎共進会 種豚の部と同時開催◎

開催日時：10月31日（水）13:30～
出 品：共進会出品豚を含めたL・W・D及びF1 70頭
皆様のご来場お待ちしております。（生産課 金杉）



地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

「食の安全・安心」のための第1歩は、
「法令遵守」であることを改めて認識してください。

部 署	TEL	FAX	メールアドレス
総務・企画部	総務課 043-242-5417（代）	043-238-1255	info@chiba.lin.gr.jp
	企画課 043-242-6333		oosaki@swan.ocn.ne.jp
事 業 部	経営・環境課 043-241-1738		takeda@swan.ocn.ne.jp
	衛生指導課 043-241-1738		chieishi@aioros.ocn.ne.jp
	生産課 043-241-3851		kanasugi@np-chiba.jp